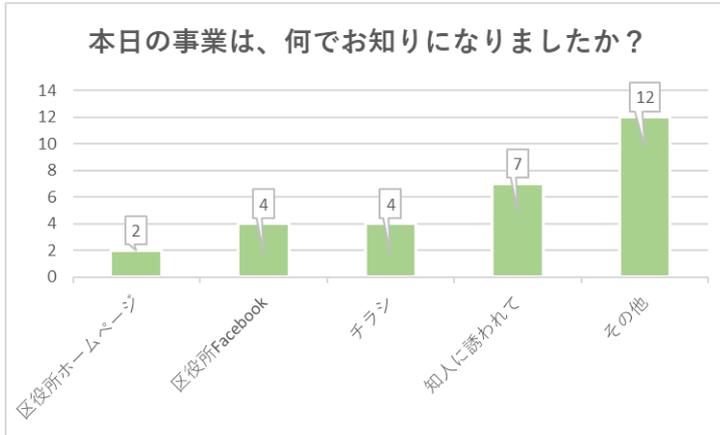


## 第五回 東淀川みらいEXPOアンケート集計

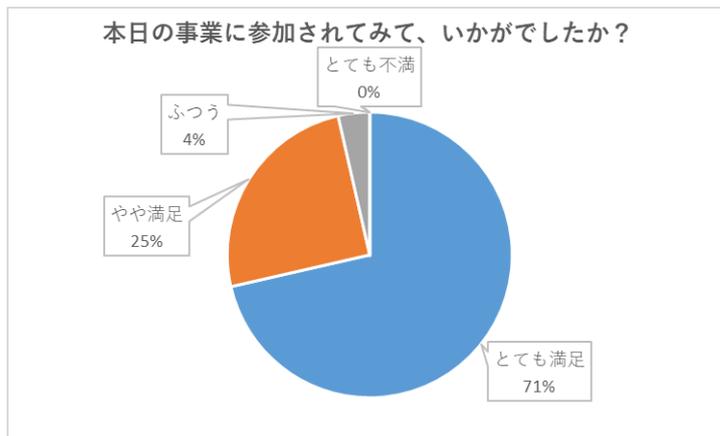
出席 37名

回答数 29名

Q1、本日の事業は、何でお知りになりましたか？（複数回答可）



Q2、本日の事業に参加されてみて、いかがでしたか？



具体的に

- ・グループの中で、若い方のアイデアをたくさん教えて頂いて、地域包括の取り組みに活かしていきたいと思いました。本川さんのお話がとても心に響きました。地域にばんさい食堂があって良かったです。心強いです。
- ・色々な方の色々な想い、活動を知ることができ、明日からの仕事のモチベーションとなりました。地域にはいろんな活動があり団体がある中で、どことどこが協働するともっとスムーズに物事が回っていくんじゃないかなど、ということも、ボンヤリと思いながら、でも具体的には何も思い浮かばないので、もう少し、地域でしっかりとやっていきたいなあと思いました。
- ・2022年1月にスタートする事業に、コミュニティフリッジの取り組みが活用できそう。東淀川に思いをはせる方がたくさんいて良かった。
- ・地域づくりに積極的な方々と意見交換できたことが貴重な体験となった。
- ・さまざまなことをされている人たちの話を聞き、自分の研究に生かすことができそうなアイデアが得られました。
- ・私自身、子ども食堂などに興味があったが、どのように取り組まれているのかわからなかったのが、それを知ることができた。様々な立場の方とお話しできて、刺激になった。

- ・ ディスカッションは楽しかったです。
- ・ 東淀川でいろんな思いを持って活動している人、活動しようとしている人、企業、グループのことを知ることができてよかったです。
- ・ 紹介シートに書かれている団体や、個人の方の活動がよくわかり刺激を受けました。ありがとうございました。
- ・ スネイルトラック本川さんのお話を聞きたいと思っていたので、とても良かったです。支援の対象を広くするか、限定するか、と言うテーマもありましたが、色々試してより良い運営を作っていく過程だと思います。
- ・ 区内にいろんな思いを持って活動されている人がいることを知れた。学生の方々の視点クレバーな発言に触れられた。
- ・ お2人の話を聞いてためになりました。
- ・ 活動者の顔が見れ、話ができること。
- ・ 東淀川区で活動されている他の団体さんと知り合いました。
- ・ 今までにない取り組みで新しい発見があったこと。
- ・ 本川さんの話が面白かったです。
- ・ 東淀川のまちづくり、東淀川を良いまちにしたいと考えている人たちとつながることができた。
- ・ 仲間内で話し合っても同じ意見しか得られないことが多いが、様々な分野の人と話すことができ、貴重な経験ができた。また事例紹介においても、ただ経営のためにやっているのではなく、収支が+-0になるように行っていることがとても興味深かった。
- ・ 様々な立場や職業の方と地域課題について考えることができ、学びが多かったと感じる。
- ・ 異業種の方と知り合えて、色々と情報いただけました。
- ・ 新しい社会の仕組みを学ぶことができた。東淀川区の人口統計の説明があったが、受講者に伝えたいポイントをもっとわかりやすく説明されても良いのではとないかと思った。
- ・ 様々な支援のパターンを聞いて嬉しいです。
- ・ 先に東淀川区の人口を述べておられたため高齢者の人の現状が分かり、ばんざい東あわじをする情景をおもい浮かべやすかった。SDGsは、社会で取り組んでいることで様々なところが取り組んでいるが、口だけになっているところが多いが、それを実行できていることがすごいと思った。それに加え、今回のように区役所と企業が連携を取れているところが見えて、これをする地域が増えるのが理想で見本となるものを見て満足でした。
- ・ 普段関わることのない業種の人たちとお話できてよかったです。

### Q3、今後、東淀川みらいEXPOで取り上げてほしいテーマや内容はありますか？

- ・ 今日、本川さんと、コミュニティフリッジのお話を教えて頂きましたが、東淀川区でがんばっておられる方のお話をもっと聞きたいと思いました。
- ・ 地域の資源、今回のテーマもう一度
- ・ なんかする会
- ・ 少子高齢化
- ・ 地域活動の中で特徴的なことをしている人たちを取り上げて欲しいです。
- ・ 同じテーマでまたやりたい。SDGs、東淀川を知るゲーム作り。カルタ、すごろく、ポケモン GO的ゲーム、東淀川歴史検定を作る。

- ・ 地域活動、住んでいて幸せに思える地域づくりについて取り上げていただきたいです。
- ・ 孤立した高齢者問題。
- ・ 次回以降も「地域活動」について取り上げて欲しいと思います。より良い街にするために意味があると思います。
- ・ 地域活動。
- ・ 子どもの自立。
- ・ 遊び場（子供も大人も）
- ・ 高齢者の居場所づくり。（特に男性）
- ・ 「交通」。今後、阪急の高架化など交通において大きな転換を迎える。その上で、交通に関する考え方をまとめるのも1つではないでしょうか。
- ・ ゴミ削減。
- ・ 公共交通のあり方。淡路駅周辺を今回歩いたが、バスを使いたくてもどこへ行くのかよくわからなかった。高齢者向けの交通のあり方を考える時期では。
- ・ 東淀川区でフードパントリーができないでしょうか？
- ・ コロナで色々な制限があり、祭りやイベントがなくなり、今の状況で再開することが難しい。コロナ後それを再開するのが面倒であると、無くなる可能性もある。高齢者も問題だがファミリー世帯も少ないと言うことで若者向けの取り組みも取り上げていかないと地域が衰退することになってしまう。

Q4、「資源」や「善意」が循環する仕組みづくりに向けて、あなたにできる「最初の一步」はどんなことですか？

- ・ 地域の方とつながることです！
- ・ 必要なものを必要なところへ届けられるようにネットワーク作り。地域の人と顔の見える関係づくりをしていきたいと思います。
- ・ 事業計画に組み込む
- ・ 誰かの助けで生きていることを知る。
- ・ 生活の中でムダをなくしていく。
- ・ 人事だと思わないこと。私は幼少期に困窮したことがあるので、そういった人たちを、自分のせいであんなったとさげすまず社会全体の問題だと思うこと。
- ・ まずは地域の方々の話を聞くところからスタートします。
- ・ 今やっていることを続ける。コロナで動きにくかった活動を再開する。最後に本川さんが言っておられた「あの日の自分がして欲しかった、あったらよかったことをしている」という言葉、私も同じ思いでやっていたはずのことを思い出しました。
- ・ 笑顔でお隣の人とお話できれば。
- ・ フードドライブのできる場所を増やす。
- ・ 知ろうとすること、話しかけること。
- ・ ポイ捨てをしない。
- ・ 右にいる人を支えること。
- ・ 地域の相談窓口になる（障害就労問題や不登校問題）
- ・ まず地域で何が取り組まれているのかをきちんと情報を得ること。
- ・ 地域のボランティア。組織の中で今あるアイデアを発信する。

- ・ 自分の購買行動の意識を高める。不安なものは買わない。ものは大切に使う。今後の未来で輝き続けて欲しい場所でお金を使う。
- ・ 思いを行動に移すこと。
- ・ 地域でそのような活動を行っている企業に対して、協力することや商品を利用することが考えられる。
- ・ ショッピングセンターとして、何が出来るかを考える。（人が集まる場所の提供？）
- ・ 循環する仕組みを多くの知人に知ってもらう仕組みが必要ではないかと考え、できるだけ多くの人に関わる取り組みができるようにしたい。
- ・ こども食堂を実施していますが、6年目です。やっと、子供たちの顔が見えてきました。これから、本当の子供の情報がわかるようになりたいと思っています。
- ・ ボランティアに参加するのも1つの手だが、過去から学ぶとこれまで隣近所が自然と連携していた。（子供も含めて）それがなくなったことで循環する仕組みを作り出さなければいけなくなった。ならばもどに戻り、隣近所での関わり方を改める。挨拶をするだけでも変わるだろう。なのでコミュニケーションを取ることから始めようと思う。
- ・ ボランティアに参加する

Q5、東淀川区の地域活動について、地域・企業・教育機関・行政等、様々な組織の連携で、まちづくり活動が進められていると感じますか？

